

(別添1)

地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価(一次評価)結果報告(平成29年度補正予算事業)

平成31年10月15日

協議会名:	養老鉄道活性化協議会
-------	------------

実施事業:	確保維持事業				バリア解消促進等事業			調査等事業		
	幹線	フィーダー	離島航路	離島航空路	バリアフリー	利用環境改善	鉄道安全	調査	再編調査	協働推進
							○			

※実施した事業に○をつけてください。

地域の交通の目指す姿:	地域公共交通確保維持改善事業の補助により、鉄道利用者の輸送安全性の向上を図る。
-------------	---

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成31年10月15日

協議会名： 養老鉄道活性化協議会

評価対象事業名： 平成29年度地域公共交通確保維持改善事業(補正分)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通ネットワーク計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通ネットワーク計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
一般社団法人養老線管理機構 養老線	まくらぎ(PCまくらぎ化)	利用者の輸送安全性を向上する事業を実施した。	A 計画どおり事業は、適切に実施された。	A 保安度の向上とともに年間620万人の利用者の輸送安全性が向上した。	平成29年度に計画し、平成30年度に実施した事業は完了した。
一般社団法人養老線管理機構 養老線	電柱(コンクリート柱化)	利用者の輸送安全性を向上する事業を実施した。	A 計画どおり事業は、適切に実施された。	A 保安度の向上とともに年間620万人の利用者の輸送安全性が向上した。	平成29年度に計画し、平成30年度に実施した事業は完了した。
一般社団法人養老線管理機構 養老線	変圧器(変圧器更新)	利用者の輸送安全性を向上する事業を実施した。	A 計画どおり事業は、適切に実施された。	A 保安度の向上とともに年間620万人の利用者の輸送安全性が向上した。	平成29年度に計画し、平成30年度に実施した事業は完了した。